

学生図書委員会 活動報告ほか

本の世界について ～一抹の懺悔を添えて～

図書委員会委員長 情報工学科4年 石村 涼介

はじめまして。2022年度図書委員会委員長の石村です。

皆さんは「本の魅力」と言われて何を思い浮かべますか？語彙力や文章力が向上することでしょうか。それとも新しい知識が身につくことでしょうか。

確かにこれらは大きなメリットです。しかし、私は「本の数だけ世界が広がっていること」こそが最大の魅力だと考えています。

本には著者の想いや考えが詰まっています。そしてそれが色褪せることはありません。何百年も前に遠い国の誰かが伝えたかったことに、本の世界を通じて触れることができるのです。いえ、触れるだけではありません。作者や登場人物に感情移入することで、世界を体験することだって可能です。本を手に取り想像力を働かせれば、私達はいつでもどこにでも行けて誰にでもなれるのです。

以上のことは、何も小説や自伝などに限った話ではありません。我々高専生が普段使っている専門書だって同じです。専門書の世界は複雑で、世界を旅する読者は何度も打ちのめされます。しかし、著者は伝えたいという想いを込めて執筆しているため、その人間らしい部分が垣間見ることがあります。例えば、難解な解説の中に誤字を見つけると、高名な先生でもミスをするんだなど可愛く思えてきませんか？皆さんもこのような少し癒されるオアシスを楽しみながら専門書の世界を旅してみたいかがでしょう。

さて、以上を踏まえて図書館の話題に移りましょう。本の数だけ世界があるならば、大量の蔵書がある図書館はいわば異世界への扉です。その扉を無料で何度でも開けるわけですから、これを使わない手はないでしょう。また、欲しい本が図書館に無い場合はブックハンティングや希望図書の制度があります。積極的に利用してください。

ここまで読んでくださった物好きな方へのメッセージです。実は、上で偉そうに語っている私は去年2、3冊しか趣味の本を読んでいません。さらに、図書委員会に入った理由も委員長になった理由も「なんだか面白そうだから」です。この場を借りて懺悔させてください。ただ、本との出会いもこういったふとした事がきっかけだと思います。ぜひ軽い気持ちで図書委員になって軽い気持ちで本に出会ってください。飛び込んでみると案外楽しいですよ。

最後になりますが、こんな委員長を支えてくださった先生方と幹部の方々、そして委員のみなさん、ありがとうございました。



学生図書委員会作成 図書館紹介動画

図書館ホームページでは、学生図書委員会が作成した図書館紹介動画を公開しています。自動貸出返却機の使い方などが説明されています。
<https://www.nara-k.ac.jp/nnect-library/guide/introduction/>



「私」にとっての図書館とは

情報工学科3年 村上 拓也

皆さんこんにちは。本年度、図書委員会の会計を担当している村上拓也です。

私は1年生のころから図書委員会で活動させていただく機会があり、図書委員の一員として様々なプロジェクトに参加させていただくことができました。その中でこんなことを思いました。

「本に興味がなさ過ぎなのでは？」

各クラスでも連絡されているとは思いますが、図書委員会では年に2回、ブックハンティングというものを行っています。このブックハンティングでは、各クラス内で希望の図書を各クラスで割り当てられた予算内であれば、自由に選書し、学内の図書館に所蔵されます。1,2年生の皆さんはまだ専門のレポートも、高学年のもの比べると簡単なものかとは思いますが、高学年になるにつれて実験の内容が難しくなっていると私自身も実感しています。

今の時代、インターネットが普及しており、高専に入学している方の大半はパソコンを持っていることもあり、参考文献もインターネット上で検索している方も少なくないと思います。しかし、これにはデメリットもあります。

多種多様なことがインターネットで知ることができる時代ですが、インターネットで調べた内容が必ずしも正しい保証はありません。それに比べて、専門書などでは大抵、著書の中に参考文献が引用されており、この情報のソースはここ！と、わかるようになっていきます。そのため私は、インターネット上で調べた情報と比べると確実性が高いのではないかと考えています。

本校の図書館には、よくあるような文庫本や、小説だけでなく、各学科に関連する専門書や、過去の卒業生の方々が書いた卒業論文など、数多くの蔵書があります。そのため、これについて勉強したいけど参考書買うのも高いし、と思う方は図書館に是非立ち寄ってもらいたいです。求めている本が実は高専の図書館内にあって、参考書を買う必要なく勉強できる、といったこともあります。

最後に、私にとって図書館とは、実験や、情報工学科であればプログラミングの参考書など、学校の授業や課題、レポートだけでなく、TOEICや各種資格試験など、私自身勉強したい内容についての教材など、公営の図書館にはない、高専だからこそその図書館だと考えています。皆さんもこれを機に是非図書館を活用してもらえたらいいな、と思います。

最後まで目を通していただきありがとうございました！

図書館だよりの表紙絵について

図書館だよりの表紙絵は、美術の授業の作品で教員から推薦された中から、教育支援センター運営委員会での投票により選出しています。

ホームページでは、候補作も含めすべての作品がご覧になれます。

<https://www.nara-k.ac.jp/nnct-library/publication/librarynews/>

